

応用理学/資源工学部会報告

中国本部応用理学/資源工学部会

部会長 松木宏彰

部門 応用理学・建設・総監



1. はじめに

本年度は、新型コロナウイルスの影響により、中国本部での行事等について、Web 等による方式が主となっている。このような状況を受け、本部会の行事についても、例年9月前後に開催していた例会と講演会について、従来の形式での開催を見送り、Web 形式により実施した。

また、これまで統括本部の協力のもと、本部開催の講演会のWeb 中継を技術士会の会議室等を利用して行ってきたが、本部でもZoom による配信となり、職場や自宅での聴講が可能となった。このため、部会としての中継は行わず、個別での参加形式とした。個人的には統括本部の講演を聴講したが、部会としての参加人数については、主催者でないため把握できていない。ここでは、本年度の10月27日に開催したWeb 講演について簡単に報告を行う。

2. 開催講演会の概要

講演の概要は以下の通りである。

日 時：令和2年10月27日(火)

18:30～19:30

形 式：Web による配信

参加申し込み数：47名

講演題目：「南イングランドとジュラシックコースト」

講師：河内義文 日本技術士会山口県支部

副支部長 (株式会社 ケイズラブ)

今回のWeb による講演会は、当部会としては初めての開催であった。またホスト側での操作についても初めてであり、当日はTeams

での配信予定であったが、接続がうまくできなかったため、急遽ソフトを切り替えて行った。そのため、一部の方にはアドレスの変更情報が十分に伝わらず、ご迷惑をおかけした可能性があり、この場を借りてお詫びを申し上げたい。

この影響で、開始時刻が少し遅れたものの、その後無事に講演を終えることができた。講演内容は、講師が訪れたイギリス南部の地質や地形の紹介に加え、歴史や文化とのかかわりなど幅広い内容にわたり、興味深いものであった。

これまでの例会・講演会は、広島での開催のため遠方の方の参加は難しいこともあったが、Web による開催では、移動時間や交通費の面での負担がないこともあり、今回は多くの方の参加を得ることができた。

その代わりに、講師にとっては、参加者の反応や理解の状況が把握できないというデメリットもある。今後は、講演形式での開催とWeb での配信をうまく併用できるよう検討したい。

3. おわりに

長年にわたり技術士会の活動や応用理学の分野で活躍されてきた外山涼一副部会長が、令和2年5月25日に逝去された。この場を借りて、故人のこれまでのご活躍に感謝するとともに、ご冥福をお祈りしたい。